

5月のTLG



感染者数を1年間の増加人数で見るとオーストリアが多い

コロナウイルス 1年間での感染の広がり

TLG 拠点の国	人口 (千人)	2021/5/31			2022/5/31			年間増加数	
		感染者数	人口比	死者	感染者数	人口比	死者	感染者数	死者
米国	331,003	33,376,050	10.1%	6,275	84,228,228	25.4%	166,927	50,852,178	160,652
日本	126,476	746,487	0.6%	1,791	8,838,747	7.0%	21,804	8,092,260	20,013
韓国	51,269	140,799	0.3%	459	18,119,415	35.3%	15,779	17,978,616	15,320
中国	1,447,470	100,394	0.0%	26	883,902	0.1%	155	783,508	129
メキシコ	128,933	2,413,742	1.9%	932	5,775,977	4.5%	2,981	3,362,235	2,049
オーストリア	9,006	639,722	7.1%	385	4,288,153	47.6%	1,268	3,648,431	883

この1年、韓国での感染者数の増加はとて多く、約3人に一人が感染したことになります。オミクロン株が大統領選などで急速に広がったと推測されます。

オーストリアでは人口の約半数が感染している

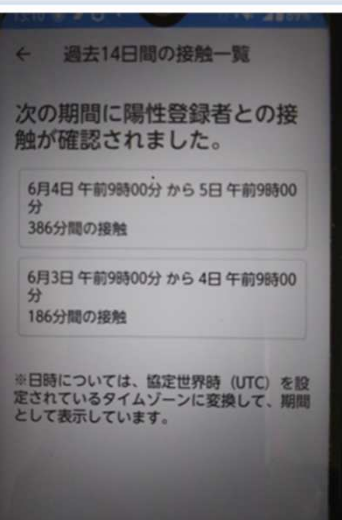
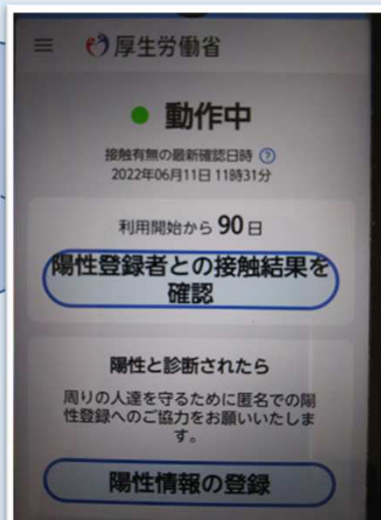
日本においても1年間で約800万人の感染者増で、人口比で7%ですから100人中7人、14人中1人という感染率になります。都市部においてはもっと比率が高いでしょう。今回の感染の特徴は全国の全ての都市で発生していること。この影響で地方のお客様でも面会が依然として禁止にするところが多く、営業活動にも大きな影響が出ています。

米国への入国と、日本への帰国⇒結構大変なんです

3月から入国制限の緩和に伴い、米国出張を開始しましたが、入国手続きが結構大変でビジネスマンからの不満が多く、外務省も他省庁と連携して簡素化対応に乗り出したようです。現在は米国入国に、①ワクチン接種証明をアプリに取り込んでQRコードで読めるようにして⇒②PCR検査をして陰性証明をフライト24時間以内にとって、アプリにダウンロード⇒③宣誓書と米国での行動予定表などを記入して航空会社へ提出という手続きが必要です。6月中旬からは免除されるようで、これだけでも助かります。

一方日本帰国の手続きは相変わらずで、①米国での指定医療機関でのフライト24時間前のPCR陰性証明をアプリに取り込んで⇒②厚生省のアプリ My SOS に必要事項を登録してPCR陰性証明のQRコードが読めるようにして⇒③COCOAに登録して行動の報告をする必要があります。このプロセスをきちんと行えば、入国時の検疫が免除になりスムーズに帰国の手続きができます。私は3月の入国時は到着から税関のゲートを出るまで約5時間かかりましたが、5月には30分で済みました。帰国便が集中すると時間はもっとかかるようですが、これは運です。この状況では、まだみんなにどんどん海外出張するようには勧められません。下記のスマホ画面のようにCOCOAのアプリを通して陽性者がいた場合はメッセージが入ります。これはフライト中、同じ機内に陽性反応者がいたことを知らせるメールです。特に濃厚接触者でないので問題はありませんでしたが。

厚生労働省のアプリが陽性者との接触があったことを知らせてくれます



内容を見るとフライト中だという事がわかります。

今月の番外編は5月連休明けから席替えで心機一転

5月の連休を活かして、社員総出で部署替え、席替えを行いました。

最初はどうかと心配しましたが、夕方終わってみると、素晴らしい改善ができました。

3F開発G、灯体G、産業資材G 品質Gと総勢10名の大所帯で狭さを感じますが「情報共有を」という意見を取り入れたレイアウトです。4Fは研究G、貿易管理Gと会議室。8Fは経理総務Gと小会議室、社長室です。

今後、業績を伸ばしてもう1フロア広げようと考えています。いずれにしてもみんなの協力で移動ができました。

本当にご苦労様でした。みんなよくやった。

3F

3Fの引越しの様子。
全員茫然としてどうしたら
いいか考えています。
数時間後、右のようにきち
んとレイアウト出来ました。



4F

4Fの様子。奥の研究室
が大変でしたが、無事整
理出来ました。右が現在
の研究Gの部屋。



8F

8Fの移動も大変でしたが、
みんなの協力で見違える
ような快適なレイアウトに
仕上がりました。
経理、総務も大満足です。

